

農業園芸センターが リニューアルオープン

震災を乗り越えて再開

平成元年の開設以来、市民に親しまれてきた農業園芸センターは、東日本大震災による津波で大きな被害を受けました。

市では、「市民が農と触れ合う場」としての役割を継承するとともに、収益性の高い農業推進を支援する拠点施設として、農業園芸センターの再整備を進めてきました。

4月から民間事業者による運営が始まり、震災以降休止していた市民農園の貸し出しも再開しました。また、4月29日にはリニューアルオープニング式典が開催されました。

市民に親しまれる施設を目指します

新しい施設の愛称は、公募により「みどりの杜」に決定しました。今後は、四季折々の花や植物が楽しめる憩いの場とするとともに、さまざまなイベントを開催し、市民が農業や食に触れ合える施設を目指します。

また、果物等の摘み取り体験などができる観光果樹園の整備を行うほか、果樹等の栽培研修の実施などにより、農業者の育成にも力を入れていきます。

全体図

施設の特徴

農と触れ合う交流拠点

- さまざまなイベントや体験プログラムによる農の情報発信
- 四季折々の憩いと楽しみの場の提供

収益性の高い農業推進支援拠点

- 果樹等の栽培研修などの実施
- 収穫体験などができる観光果樹園の整備



園内の見どころ



ふれあい交流広場

入り口を入ってすぐ目の前にある「ふれあい交流広場」では、産直市などさまざまなイベントを開催します。隣接する売店では、花苗・鉢植えなどを販売しています。



ポタジェ・ハーブガーデン

「ポタジェ」とは、フランス語で「家庭菜園」という意味。野菜やハーブ、花を混合させ、実用だけでなく、見て楽しむことができる庭です。



沈床花壇

施設の中央に広がる沈床花壇は、地面より約70cm低く作られており、全体を見渡せる花壇です。近くにはベンチもあり、季節ごとに色とりどりの花を見ながらくつろぐことができます。



バラ園

バラ園には、200品種、1,200株が植えられています。毎年見頃の時期には「バラ祭り」を開催。今年は6月12日まで、バラ苗の即売会等のイベントを行います。

この特集に関するお問い合わせは農業園芸センター ☎288・0811、FAX288・1772、
農政企画課 ☎214・8266、FAX214・8338